



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-47-3981  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail:lets@some.jp

平成26年3月

# うるわし通信

## 映画「じんじん」

映画「じんじん」に出会ったのは、去年8月の橿原上映会でのこと。とても素敵な映画だった。これからの子どもたちに大人は何を残せるのか、そんなことを考えさせられた。その橿原上映会で代表呼びかけ人をされた女性から、ぜひ桜井市でもと声をかけていただき、不安なまま桜井市上映会代表呼びかけ人になることにした。

「そんな大変なこと、やめとき」「儲けにもならないのに、ようするなあ」と言う人もいた。

それでもやろうと思ったのは、「応援するから頑張りや」と背中を押してくれる人が圧倒的に多かったこと。桜井市には元気な人がたくさんいる。やってみよう!と思った。

この「じんじん」という映画は、絵本の里としてまちづくりを行った北海道剣淵町が舞台の、心温まる映画。一番のテーマは、人と人とのつながり。

試写会を経て応援団を作った。いろいろな人に会い、いろいろな意見を聞き、いろいろな話をする。会いたいと言ってくださる方には会い、紹介したい人がいると言われれば名刺を持って会いに行く。日々めまぐるしく忙しいのだけど、とても楽しい。人とのつながりが、こんなに大切でありがたいということを、映画の上映会をする前に強く実感し、同時に関わってくださる方たちへの感謝の気持ちでいっぱいになる。

わたしはすでに映画から、たくさん「ありがとう」をいただいている。

5月18日の「じんじん」上映会は、応援してくれた桜井市のみなさんの上映会です。とても、わたしひとりではできなかったこと。

観に来てくださった方の心が、じんじんと温かくなり、優しい気持ちになってくださること。そして、桜井市民のパワーを少しでも感じてくれたら、それが一番嬉しいことです。

「じんじん」上映実行委員長  
子ども読未知(よみち)  
福島 千佳



## 「相撲発祥の地 桜井市」～ふるさとを語る

植村 幸子

纏向校区人権教育推進協議会の研究集会「相撲発祥の地 桜井市」でふるさとを語るようにのご依頼をいただき、自分の故郷のことだから何とか準備出来るだろうと簡単にお引き受けしました。ところが改めて相撲発祥の地を訪ね、調べてみると意外なほど知らないことが多いのに驚きました。日々の生活で見慣れた風景の中に潜む、古代期のドラマティックで謎に満ちたストーリーにすっかり魅せられて、研究集会ではそんな「ふるさと」の古代の姿を語ることになりました。

- ◎相撲発祥の地・大兵主神社の創建時に上社があったとされる弓月ヶ岳とはどこなのか？
- ◎相撲発祥故事に語られる垂仁天皇と、その父・崇神天皇、その息子・景行天皇。私たちの故郷を治めた親子三代の天皇のプロフィールを通して推測できる邪馬台国や三輪王権や大和王権の姿。
- ◎出雲の国の勇者・野見宿禰はどんな人物だったのか？桜井市出雲に残る十二柱神社や宿禰塚伝承は何を物語るのだろうか？
- ◎そうして辿りついた纏向遺跡・箸墓古墳・大兵主神社と伊勢・出雲を結ぶ謎。

「古事記」や「日本書紀」に語られる事跡や伝承は、日本史の空白を埋めるに相応しい私たちの故郷の姿を伝えています。伝承地や比定地として市内各地に残る野や山は、祖先から託された「記紀・万葉の原風景」なのだということに気付かされます。

古代から未来へ。いま私たちの手に託された「宝」は、大和青垣の麓に残る「記紀・万葉の原風景」なのです。地域活性化の名の下に個々に安易な観光開発を進めれば、その本来の価値を損なう恐れがあることを十分認識し、新たな発想によるふるさと活性化の道を探らねばなりません。託された「宝」を美しいまま未来へ引き渡すために「記紀・万葉の原風景」の景観保護に果たすべき「うるわしの桜井をつくる会」の役割は大きいと思います。



相撲神社から北西に望み、景行天皇陵に連なる、いにしえの大和の原風景

## 「菅笠日記の旅」

桜井市ボランティアガイドの会：藤井 義晴

奈良県観光ボランティアガイド連絡会が進めています第5回本居宣長「菅笠日記の旅」が3月1日(土)に桜井市観光ボランティアの会が主催で、遠くは札幌をはじめ、約300様の参加を頂き行われました。宣長のご両親が子どもを授かるために、吉野・水分神社へ詣で宣長を授かった事により、宣長が43才の春にお礼参りを兼ねて、古事記の現地調査のために、明和9年(西暦1772年)大和を訪れました。この時の事は「菅笠日記」に綴られています。

3月5日(新暦4月7日)、旅立ちの3日目には化粧坂から初瀬に入りました。この時の感激を「葛城山・畝傍山など遥かに見えたり、初瀬の寺・里はあざあざと見渡せり」と述べています。ここから初瀬寺・朝倉宮列木宮を経て、慈恩寺の追分から忍坂・都倉梯柴垣の宮、そして多武峰から千股に宿をとっています。

帰路8日目には、大御輪寺(現若宮社)と大三輪神社を詣で、金屋から往路に至ります。

今回は10班に分かれ、JR三輪駅からスタートし、途中朝倉小学校で昼食をとり近鉄長谷寺駅までの20kmの行程を案内しました。

「菅笠日記」の綴るところによりますと、約250年前の大和は、現在の風情と余り変わらず。里の名も現在とほぼ同じに記されています。宣長にとって、宮跡・古墳を辿る旅でしたが、里人にこの所在を聞いても、曖昧で不明であった様です。古事記に伝える処による大和は、この旅を通じて本居宣長の「古事記伝」に編纂されています。

参加者の皆様は、当時の風情に思いをさせ、他地域での案内と比較して、充実したガイドに感激され、帰宅頂きました。



白河の山道



化粧坂から大和の眺め

## 事務局だより

- 3月の常任理事会は3月22日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。

## お知らせ

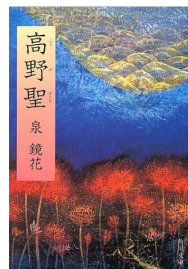
- 図書館友の会の3月読書会は「高野聖こうやひじり（泉鏡花 著）」です。

日時 3月25日（火）午後1時30分から

場所 まほろばセンター第1研修室

問い合わせ先 浅川 肇 TEL：090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



- 「コミュニティ・カレッジ 知の森」開設

中和地区のリカレント教育を推進する「コミュニティ・カレッジ 知の森」が、大福地区に開設されます。コミュニケーション研究センター（4月にNPO法人認可予定）が運営する人材養成のための教育機関です。グローバル社会を生きるスキルと考える力を育成することを教育目標としているとのこと。教育によるまちづくりの取り組みとして評価されます。詳しくは、同センター（0744-24-2556）に問い合わせてください。

- 市民活動交流拠点の部屋が変わります

市民活動団体等の活動支援と団体間の交流促進を目的として、桜井駅南口のまほろばセンター第1研修室に開設されている、市民活動交流拠点が4月1日より同センター研修室（エレベーター横）に移転します。部屋も大きくなり、パソコンなどの事務機も設置されます。（交流拠点に登録されている団体は、自由に使えます）

- 映画「じんじん」無料試写会

日時 3月14日（金）①午前10時～ ②午後6時30分～

場所 桜井市立図書館 第一研修室

参加費 無料（招待状が必要です）

主催 映画「じんじん」上映実行委員長

こども読未知（よみち） 福島 千佳

問い合わせ先 桜井市立図書館 TEL：0744-44-2600



**編集後記** 安倍首相は「国家の最高責任者」だと胸を張りますが、わたしたちのスタンスは「天は人の上に人を作らず」です。わたしたちは小さなまちづくりから出発していますが、政治から目をそらしてはなりません。住み良いまちづくりは「隣人に優しく、権力に迎合せず」とありたいものです。世の中は、と角、上に習いますが、市行政は中央政権の傲慢を習わないでほしいと思います。（あさ）

うるわし通信編集責任者  
〒633-0091  
桜井市桜井142-5-203  
浅川 肇  
TEL090-1961-6345